

陽の里

発行 平成25年3月25日



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター サンビレッジ
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地
TEL (0585) 45-5545(代)
URL <http://www.shinsei-kai.or.jp/>

No.115

テーマ 「夢をもつこと」



▶「夢への旅立ち」をするサンビレッジ国際医療福祉専門学校生がホームへ挨拶にきました

「夢をもつこと」



社会福祉法人 新生会

理事長 今村

寧

新生会という「夢」とは、そこにたどり着く過程は長いもの
はあるが、達成すべき目標を指して言っています。現実不可能な
目標は「妄想」と呼ぶことにしています。

この「夢」はプライベートなものもあれば、仕事上でのものも
あります。「夢」が無いと自分自身の生活がちぐはぐなものになり、
つまらないものになってしまいます。仕事の上でもやりがい無く
なり、ただお金を稼ぐために労働力を提供していることになって
しまいます。みなさんは「妄想」ではなく、「夢」を持っていますか？

「夢」がまだ「妄想」段階にある人も、朗報があります。この
妄想もまったく無駄というわけではありません。まだ現実味を帯
びていないたくさんの妄想のなかから、時間が経ち環境が変化す
る中で「夢」へと昇華することがあります。ですから、こんなこ
とできたらいいな、このようになれるといいなという、単なる希
望（妄想）をたくさん持つことも非常に大切なこととなります。
時に新生会では、会議などの集まりの場で、大妄想大会が始まる
ことがあります。ある人が一つ妄想を言えば、別の人がそれを受
けてさらに別の妄想を話し出します。妄想が妄想を呼び、やがて
皆が「それいいね」となり、「夢」へと発展していくことが多々あ
ります。皆で「夢」を共有し、実現させていきましょう。

夢に向かって



左より田口・廣瀬・馬淵・川瀬・玉城・桑原

な職域の方々が介護の世界へ転職して来ます。そして介護の魅力に取りつかれて成長してゆきます。今年も新しい仲間が新生苑の「家」で謙虚な心で高齢者から、先輩から、地域の方々から深く学び介護福祉士・社会福祉士等を取得し各新生グループの拠点や地域・社会へと羽ばたいて行くでしょう。これからも「実家の役割」を果たし、しっかりと育て活かして行く事に努めて行きます。

「安心への夢」

宮路管理者 廣瀬京子

実家の役割
サンビレッジ新生苑管理者 馬淵規嘉
サンビレッジ新生苑は、今年で37歳。私と同じ年齢になります。諸先輩方が理念を受け継ぎ、「この世に老人の極楽を」と20名余りの職員で開苑してから今では、600名近い職員が高齢者の暮らしを支えています。
新生苑は家族で言う和大家族です。最近幅広い年代層で色々

戸建ての有料老人ホーム「サンヒルズ ヴィラ・アンキーノ」を多くの方に広く知って頂き、ラストステージをこの素晴らしい自然の中で満喫して頂きたいと願っています。元気なうちに自分の目でアンキーノを選ぶ事で、入居してから終わりではなくここで暮らしたからこそ、自分らしい人生が安心して送れる事を二人でも多くの方に知って頂きたい。
誰しもが出来なくなる、その

将来抱えるリスクを元気なうちから顔馴染みのスタッフが、さり気無くサポートするからこそ、アンキーノが最後まで安心して暮らせる処になっていきます。
大切な人生だからこそ選んで頂ける努力をしていきたいと思っています。

バランスのとれた

専門職となる

大垣・白鳥管理者 桑原 陽

私たちは生活支援の専門職です。また、当たり前ではありませんが、組織人、一社会人でもあります。

昨年までの新規事業開設に伴い、ここ数年で多くの新しい仲間が増えました。その仲間と共に、それぞれの専門領域のスペシャリストとして、専門的見地に基づいたアセスメントや支援の実際、効果・課題を表現することに引き続き取り組んでいきたいと思えます。
また、一社会人として当たり前でもあるマナーを始めとし、判断力や発信力、柔軟性と規律性

等を磨き、お互いを思いやりながら、チームメンバーと共に実践し、その結果に責任を持つことが出来るようなスタッフを目指してまいります。

「夢をもつ」

瑞穂管理者 玉城栄之助

「夢」というと大きなことをイメージしますが、私は其々の人が「やりたいこと」の中に幸せになれる目標を見つけることが「夢」ではないかと考えます。瑞穂部門は「もやいの家瑞穂」「サンビレッジ瑞穂」「サンビレッジほづみ駅前」の3拠点からなり、其々がまだ産声を上げたばかりの施設です。各拠点では「サービスの質（介護の質）の向上」という終わらない「夢」に向かって日々実践し、施設で生活する利用者・在宅で生活をする利用者の生活を支えます。そんな中、利用者、家族、職員、強いては社会が今よりも一歩でも幸せになれるように、私たち自身が生活支援のプロフェッショナルであるという「強い

「地域力の向上」

岐阜管理者 川瀬由起子

岐阜部門は、「赤ちゃんから高齢者までが安心して暮らせる街づくり」をスローガンに五年が経過しました。地域住民と3階テナントの方と一緒にイベントや避難訓練などを楽しく実施することを通して、少しずつ街づくりが出来てきたと実感しています。

25年度は、1階のテナントスペースを利用して多世代交流支援センターを地域に向けて開催していきたいと思っています。岐阜シティ・タワーの住民、周辺住民と一緒に岐阜市の街で安気に最後まで暮らせるように考えていきたいと思っています。地域住民が主体的に取り組める企画と安心して暮らせる情報を発信していき、地域全体が元気になること地域力向上を目指します。

まちを駆け巡る

暮らしの応援団になる

フーズ管理者 田口友子

健康の源である食に携わっているフーズ部門の目標・ゆめは元氣いっぱいの調理員が作る食事を載せた車やフットワークの良い栄養士が食の大切さを語らいながら施設内、まちを駆け巡ること、暮らしの欠かせない応援団になること。実現していく一歩として、多くのかたに私達の作る食事を食べていただき、ご意見を伺うことから始めていきます。

配食サービスの要である安否確認の徹底・配達員からの情報共有、予防教室、施設利用者：様々な出会いを通して積極的に食べる人と関わります。

食事はおいしさを追及すると同時に最後まで口から食べていたけるように、食材が持つ力を生かし「嚥下食」や「おいしく減塩」「退院直後や回復時の食事」など工夫をします。メニューの多様化に向け、専門職と共に計画的に進めていきます。

vol.1 「サンビレッジの仲間たち」

「あなた不安そうな顔をしてるわよ」と言われて

サンヒルズ ヴィラ・アンキーノ相談員 高橋美穂

サンビレッジ宮路の住宅型有料老人ホーム「サンヒルズヴィラ・アンキーノ」に勤務して七年になります。

アンキーノでは、生活相談員として働いています。働き始めた頃、介護の現場で働いていた私にとって、相談員という慣れない仕事できっと自信なさそうに話していたのでしよう「あなた、不安そうな顔をしてるわよ」と言われた事がありました。相談員でありながら利用者の方に心配され、大変申し訳なく反省しました。上司に相談すると、ここを選ばれる方にとって「戸建て」という環境だけでなく、信頼できる職員が傍にいるという事が、何より重要であると教えてもらいました。「利用者の方からそう言ってもらえて、気づく事が出来たでしょう。ありがたい事よね」と言われ、気持ち楽になりました。

それからは、利用される方の状況を常に把握し、その方に合ったサービスを自信を持って提案できるよう研修などに自主的に参加し、各種サービスについて学びました。そして安心して気軽に相談して頂く為に、常に笑顔を保っています。今は「あなたがいてくれて安心するわ」と言ってもらえるようになり、笑顔の大切さを実感しながら、毎日楽しく働いています。



利用者の方とショッピングへ出かけます

トピックス

春からいきいき、始めましょう!~介護予防教室~



「いきいき元気の会」をご存知ですか?

これは新生会が、地域包括支援センターの協力を得て、地域住民の皆さんを対象に行う介護予防事業の名称です。

昨年度は「運動・栄養・お口の健康・認知症予防・転倒予防」等をテーマに、講座や体力測定、専門職によるアドバイス等を年7回継続して開催し、参加者からも、「運動能力の数値が上がり、体力向上が実感できた」「心や身体がリラックスでき、気分が明るくなりました」等と好評を頂くことができました。

さあ春は、仕事に興味に恋愛に、新しいことを始めましょう!今年度の日程は町報等でご案内します。心も体も健康になりたい方は是非ご参加ください!

白熱、介護選手権!~サンビレッジ・ケアコンテスト~



3月22日、新生会の「第1回 サンビレッジ・ケアコンテスト」が開催されました。

これは介護における「根拠あるケア」をテーマに、各部署の選抜職員が、移動時の誘導、食事時の声かけ、排泄時の配慮等、実際の介助場面を実演して優秀ケアを競い合う、新しい試みです。

当日は「先輩から教わった何気ないケアにも意味があったんだ…」と皆、四苦八苦。改めて相手の個性や障がいを把握し、自立支援を行っていくことの大切さと難しさを実感している様子でした。

さあ、コンテストの本当の本番は明日からです。会場から帰った選手たちが、技術と理念のタスキを仲間に、そして地域の皆さんにも繋いで行くために。

優勝賞品は勿論、利用者さんのとびっきりの笑顔!



上手な介護、一緒に探そうかね?



~和気合い合い 介護者の集い~

3月14日、介護者の集いにて、認知症の方の物忘れ等、対応方法をご家族と考えるために、職員による「上手な介護、一緒に探そうかね?」と題した寸劇が行われました。

「お~い、わしのピザはまだかい?」「ピザはさっき食べたでしょう、おじいちゃん…」「ひざ?わしは膝は痛くないぞ?」と、ちょっと若い?お年寄り職員との珍問答に、ご家族からの笑いが起こりました。

当日はその他にも、管理栄養士による認知症予防・進行軽減を考えた献立を食べて頂いたり、盛り沢山の内容で楽しんで頂くことができ、「こんなにゆっくりできたのは久しぶり」「劇に私も参加したかった」「今度は皆でバス旅行に行きたい」等、多数の声を頂きました。

今年度も現在企画中です。楽しいお仲間と共に、上手な介護を一緒に探そうかね!

サンビレッジ新生苑 第37回 チューリップ祭りのご案内

日時：平成25年4月13日(土)10:30~14:30

場所：サンビレッジ新生苑中庭(雨天：ひまわりホール)

恒例のよさこいソーランにききょう太鼓、池田中学校吹奏楽部の演奏は勿論、模擬店や大道芸、スタンプラリーにチャリティー物産展・抽選会と、盛り沢山の内容となっています。皆様のご来苑をお待ちしております。

